

第2回気候変動を踏まえた青森県沿岸海岸保全施設技術検討会の 議事概要について

日 時：令和6年3月14日（木）13：00～15：00
場 所：VISITはちのへ（ユートリー） 5階 視聴覚室
出席者：佐々木座長、南委員、加藤委員、渡邊委員、平山委員

1 検討項目

- ① 第1回技術検討会の意見・回答
 - ・第1回技術検討会で出た意見に対する回答を行った。
- ② 将来外力設定にあたっての前提条件
 - ・今後将来外力の設定をしていくために必要となる前提条件を整理した。
- ③ 潮位偏差・波浪の将来予測手法について
 - ・潮位偏差及び波浪の将来予測手法について、各手法の詳細（メリットデメリット等）を把握し、採用する手法の検討をした。
- ④ その他
 - ・気候変動の影響を踏まえた設計津波の検討方針について整理した。

2 検討結果

- ① ・潮位のトレンドを把握するために反映していた地盤変動量について、近年の値は横ばいになっていることから朔望平均満潮位としては考慮しないこととした。
- ② ・「日本の気候変動2020」で公表されている平均海面上昇量について、数値導出の根拠や小数点以下の取扱いなどを確認し、次回検討会で平均海面上昇量を決めることとした。
- ③ ・手法の決定までは至らなかったため、各手法の適用結果を確認し、精度のチェックや結果の比較を行いながら、最終的に採用する手法を決定することとした。
- ④ ・2種類の津波検討手法については、検討結果比較の実施をするよう意見をいただいた。